



12月14日（水）、ノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章氏（東京大学特別荣誉教授）に、本校にお越しいただき、本校生徒1，2年生全員及び3年生希望者、海外からの高校生達に向け、梶田氏の研究分野であるニュートリノや重力波について、ご講演（全て英語で）いただきました。

ノーベル賞受賞者をお迎えするのは、開校以来、初めてのことであり、本校にとって歴史に残る一日になりました。

今回のご講演は、令和4年度の[さくらサイエンスプログラム](https://ssp.jst.go.jp/) <https://ssp.jst.go.jp/>の高校生交流校として本校が選ばれたことから実現したものです。当日は、梶田氏講演会の他、各国（マレーシア、パプアニューギニア、モンゴル、台湾、バングラデシュ）からの高校生と本校生徒との交流（授業体験、部活動体験、交流活動）も行われました。

講演後は、校長室で梶田氏と懇談する時間をいただき、これからの科学技術人材の育成について、研究者、特に女性研究者が我が国でも増えていくことへの期待…等のお話を伺うことができました。梶田氏は、現在も新たな研究プロジェクトに挑戦しており、研究にかける情熱をひしひしと感じさせていただきました。



*講演会で示されたメッセージより

If you want to do something (e.g.,science), please do not hesitate to do so.

世界の第一線で活躍されている方々から、直に学ぶことができる機会をいただいていることに感謝です。ありがとうございました。

<本校生徒と海外高校生との交流の様子>



授業での交流（物理）



授業での交流（地学）



部活動交流（茶道部）



部活動交流（天文気象部）



各国の高校生たちと交流



各国の高校生たちと交流